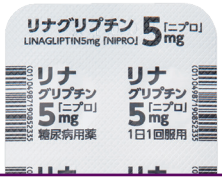
リナグリプチン錠5mg「ニプロ」を服用される皆様へ

以下の内容は、ご家族やまわりの方にもお知らせください

リナグリプチン錠5mg「ニプロ」は、血糖値を調節するインクレチンというホルモンの分解を防ぎ、血糖値に応じてインスリンの分泌を促進するなど、血糖値を下げる作用のあるお薬です。

リナグリプチン錠5mg	PTP包装
表／裏 	 

錠剤（実物大）、PTPシート（80%縮小）

- **リナグリプチン錠5mg「ニプロ」は、1日1回、1錠を服用します。**
- **毎日決まった時間に水またはぬるま湯で服用してください。**



飲み忘れた場合には、気がついたときに1回1錠を飲んでください。

- ただし通常服用する時間が近い場合には服用せずに、次の機会に服用してください。
- 2回分を一度に服用しないでください。
- 誤って多く服用した時は、医師または薬剤師に相談してください。
- 医師の指示なしに、服用を中止しないでください。

以下のことに気をつけてください。

- まれに、**強い空腹感、体のだるさ、冷や汗、顔面蒼白（青ざめる）**になることがあり、これらは低血糖症の初期症状である可能性があります。このような場合には、**まず糖分をとりましょう**。症状の回復が見られない場合にはすぐに医師に相談してください。
- 主な副作用として、**便秘、ガス、膨満感**などが報告されています。このような症状に気づいたら、医師または薬剤師に相談してください。

※気になる症状がでた場合は、医師または薬剤師に相談してください。

低血糖に注意しましょう

低血糖とは、お薬の量の間違いやほかのお薬との併用、長時間の運動、食事の遅れ、過度な飲酒などが原因となって血糖値が下がりすぎてしまう状態です。**症状のあらわれ方には個人差があり、早めに対処することが大切です。**

低血糖の主な症状

強い空腹感	体のだるさ	動悸	冷や汗、顔面蒼白	手指のふるえ
生あくび	集中力の低下	けいれん	眼のかすみ	ボーっとする

低血糖症状が起こったときには

- **α-グルコシダーゼ阻害剤**との併用により低血糖症状が認められた場合にはショ糖ではなくブドウ糖をとるようにしてください。
- 高所での作業や自動車を運転する人は、必ずブドウ糖を常備しておきましょう。



2026年11月作成（TT）
［審2610275442］